

JACET中国・四国支部 Newsletter

第 27 号

目次

1. 巻頭言	支部長 岩中 貴裕	pp.1-2
2. 2021 年度春季研究大会報告	研究企画委員 中住 幸治	p.3
3. 2021 年度 支部第 1 回役員会報告	事務局幹事 寺嶋 健史	p.4
4. 2021 年度 支部研究会 OPP イベントについて	OPP 代表 三熊 祥文	pp.4-5
5. 2021 年度 秋季研究大会発表応募要領		pp.5-6
6. 2021 年度『JACET 中国・四国支部研究紀要』第 19 号投稿募集		p.6
7. 事務局だより		pp.6-7
編集後記		p.8
【重要】 ニュースレター (NL) 配信についてお願い		p.8

1. 巻頭言

中国・四国支部長 岩中 貴裕

支部会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。このニュースレターが皆さんの手元に届くころには、前期の授業（クォーター制の大学は第二クォーター）がほぼ終わりに近づいている頃ではないかと思います。

2021 年 6 月より岩井千秋先生（広島市立大学）の後を継いで支部長を務めさせても

らうことになりました、岩中貴裕（山口学芸大学）と申します。私が JACET の会員になったのは、2007 年のことです。当時は兵庫県内にある某短期大学で働きながら、博士の学位取得のための研究に取り組んでいました。知り合いから勧められて、安田女子大学で開催された JACET の国際大会

に参加させていただいた時のことを今でも覚えております。

研究企画委員として支部役員を務めさせていただくようになったのが、2012年度からです。2014年に広島市立大学で国際大会が開催された際は、非常に貴重な経験をさせていただきました。JACETでの活動を通して出会った様々な先生方のおかげで今の自分があると思っています。微力ではありますが、これから支部運営に全力で取り組ませていただく所存です。

さて、初めて書かせていただく巻頭言です。この機会にぜひ、私の教育に対する考え方を皆さんと共有させていただきたいと思います。私の考え方はやや偏っているかもしれませんが、最後までお付き合いいただけると幸いです。

「教育に改革はない。できるのは改善である。」というのが私の基本的な考え方です。教育に詳しい有識者が指摘されているように、教育は「惰性の強い制度」です。つまり何か新しい試みを始めたとしても、その効果が確認できるまでにとっても長い時間がかかるということです。これは日々、教育に携わっておられる皆さんも経験的に感じておられるのではないかと思います。授業で新しい取り組みを始めても、すぐにその試みが素晴らしい成果をもたらすことはありません。教育の世界には特効薬は存在しないということです。

2013年度より年次進行で高等学校において実施された、学習指導要領を例に挙げてみましょう。「授業を英語で行うことを基本とする」という方針を示したこの学習指導要領が2009年(2008年度内)に告示された時は大きな注目を集めました。この学習指導要領が実施されて既に8年の歳月が流れました。果たして日本人英語学習者の英語コミュニケーション能力は向上したのでしょうか。現時点では何も結論を出すことはできません。

まず授業を英語で行うことの意義が高校の先生方に共有されるまでにかかなりの時間が必要です。「日本語で説明した方が分かりやすくいい授業ができる」というピリー

フを持っている先生に、英語で授業を行うように求めても逆効果です。「授業をコミュニケーションの場にするためには英語を使って授業を行った方が望ましい」というピリーが多く先生方に共有されて、ようやく「英語の授業は英語で行う」という方針が高等学校の教育現場に浸透し始めるわけです。

このように教育における新しい試みは、取り組みを開始してからその結果が出るまでに長い年月がかかります。教育を改善しようとする試みは大切ですが、朝令暮改のようなことをしてしまうと、教育現場は大混乱に陥ってしまいます。教育を良くしようと思うのであれば、粘り強く愚直に取り組んでいくしかないと思います。

教育の改善を検討する際に忘れてはいけない点がもうひとつあります。教育は一時的に停止させることができないということです。例えば銀行のATMでシステム障害が生じた場合、必要であれば全システムを一時的に停止して原因を究明し復旧作業に専念することができます。飲食店で食中毒が出た場合は、しばらく営業を停止して二度とそういうことが起こらないように対策を講じることができます。しかし教育においてはこれできません。「今の教育は問題を抱えているからこれから1年間、今の教育を一時的に停止してその間に対応策を考える」ということは不可能です。うまくいかなかったからリセットして最初からやり直そうということもできません。つまり教育には非常に慎重な舵取りが求められるのです。

英語教育は今、世間から注目されそして成果が求められています。大学英語教育学会は英語教育の専門家集団です。研究的知見に基づいた教育を実践していくのが私たちに課せられた役割です。学会活動を通して英語教育の専門家としてのスキルを向上させましょう。2021年度の秋季研究大会は10月16日(土)にオンラインで開催される予定です。皆さんにお会いできるのを、楽しみにしています。

(山口学芸大学)

2. 2021 年度春季研究大会報告

研究企画委員 中住 幸治

2021年6月5日(土)に、中国・四国支部春季研究大会が開催されました。本来は香川大学での開催が予定されていましたが、新型コロナの影響によりオンラインでの開催となりました。

大会には計77名の参加がありました。内訳は、本支部会員が41名、他支部からの会員36名でした。オンライン開催ということもあってか他支部の会員の参加が昨年比べて多かったようです。

開会式に続き研究発表が5件行われました。1件目はSHARPE, Michael先生(高知大学)・GRANT, David先生(高知工業高等専門学校)による“Intentional and Incidental EFL Vocabulary Acquisition in a High School Learning Context”(高校の学習状況における意図的および偶発的なEFL語彙の習得)、2件目は中山晃先生(愛媛大学)・木原拓海さん(愛媛大学大学院生)による「英語での生徒のパフォーマンスを評価するルーブリックとして利用可能なアプリケーションの開発(Development of the Application Software for Using It as a Rubric Assessing Students' Performance in English)」, 3件目は西谷工平先生・中崎崇先生(就実大学)による「中・上級英語学習者の形態素エラー: 複数形態素“s”再訪(Morpheme Errors by Japanese Intermediate and Advanced Learners of English: Plural Morpheme “s” Revisited)」, 4件目は奥田利栄子先生(広島大学・広島修道大学)による「大学生初級英語学習者へのオンラインでのパラグラフ・ライティング指

導ーピア・サポート活動を使ってー(Paragraph Writing Activities in Online Classes for Less-proficient EFL Learners: Learning with Peers in Small Groups)、そして5件目は二五義博先生(海上保安大学校)・伊藤耕作先生(宇部工業高等専門学校)による「高専1年生に対する体育CLILの可能性(4)ー英語を使用したパラスポーツの授業を事例としてー(The Possibilities of PE CLIL for the First-year Students at National College of Technology Part 4: A Case of Para-sports Classes in English)」でした。多岐に分かる内容で、示唆に富み知的刺激を喚起されるものばかりで、発表後の質疑応答も活発に行われました。

休憩の後、森田光宏先生(広島大学)より「コロナ禍の言語教育ーオンライン英語授業の実践と課題ー」という題目でご講演を頂きました。2020~2021年度にかけて新型コロナ禍によりオンライン授業が全国的に多くの大学で実施されていることもあり、現在進行中の授業実践をご紹介いただいたことで多くの示唆を得られたとともに、講演後の質疑応答を通じて情報交換をすることができました。

今研究大会はオンライン形式での実施でしたが盛会のうちに終了することができました。ご多忙の中研究大会にご協力頂いた、研究発表者・参加者の皆さま、大会事務局の方々に深くお礼を申し上げます。

(香川大学)

3. 2021 年度 JACET 中国・四国支部

第 1 回役員会報告

事務局幹事 寺嶋 健史

2021 年 6 月 5 日（土）に 2021 年度第 1 回支部役員会が ZOOM を使って開催され、2021 年度の活動、2021 年度中国・四国支部人事、2022 年度の事業計画について審議を行いました。

2021 年度（後期）および 2022 年度事業計画についてお知らせいたします。

- 1) 「JACET 創立 60 周年記念ウィーク」
第 48 回サマーセミナー・
第 60 回記念国際大会
同時オンライン開催
日程：2021 年 8 月 25 日（水）
～29 日（日）
*一般発表は 28 日（土）・29 日（日）

- 2) 2021 年度秋季研究大会
日程：2021 年 10 月 16 日（土）
オンライン開催

- 3) 2021 年度 Oral Presentation &
Performance (OPP) Event
日程：未定
(候補日：2021 年 12 月 12 日(日) or
19 日(日)) 10～17 時頃まで
場所：未定

(オンラインが組み込まれる可能性有り)

- 4) 2022 年度春季研究大会
日程：2022 年 6 月 4 日（土）予定
場所：安田女子大学（広島県広島市）
- 5) 2022 年度秋季研究大会
日程：2022 年 10 月 22 日（土）予定
場所：山口学芸大学（山口県山口市）
- 6) 2022 年度 Oral Presentation &
Performance (OPP) Event
日程：12 月中旬
場所：未定
- 7) 支部紀要・支部ニューズレター
・『大学英語教育学会中国・四国支部紀要』
(第 19 号)
発行：2022 年 3 月 31 日（予定）
・支部ニューズレター
発行：2021 年 7 月 31 日（第 27 号）
2022 年 1 月 10 日（第 28 号）

4. 2021 年度支部研究会 OPP イベントについて

OPP 代表 三熊 祥文

コロナ禍は年を跨いで教育活動に影を落としています。2021 年度の前期は、大学の授業も対面でスタートしながら半ばでオンラインにスイッチするなど慌ただしい展開を見せました。そんな中、私の懸念は、対面授業が実施できない状況イコール英語パ

フォーマンスイベントの開催が困難になる可能性との直面ということでした。昨年は Oral Presentation & Performance (OPP) が開催されなかったのはご存知の通りですが、私の勤務する大学でも学内スピーチコンテストを断腸の思いで中止にし、OPP と

合わせて私の探究への痛撃となりました。実はコロナ禍真っ只中の昨年でさえ中止を拒み、実施された大学生スピーチコンテストがありました。それは由緒ある全国大会でありながら対面をオンラインに切り替えて実施されたもので、私も審査委員長を努めさせていただきました。おかげさまで、例年とは違う趣は醸し出しながらも学生の自己表現の機会を見事に担保したイベントとなっております。

これに勇気を得た私は、たとえオンラインを組み合わせたとしても今年は昨年見合わせたイベントの開催に向けて動き出そうと心を奮い立たせているところです。

2年ぶりの OPP イベントは第 12 回となります。オンラインが組み込まれる可能性も残りますが、これまでにご縁のなかった先生方も、授業における制限を克服する英語教育の可能性をさぐりに、ご参加いただけることを OPP 研究会一同心よりお待ちしております。

(広島工業大学)

募集期間 8月31日(火)まで。
開催日時 未定(候補日:2021年12月
12日(日) or 19日(日))
10時~17時頃まで
開催場所 未定

募集条件

1. JACET 支部会員であればどなたでもエントリー可。
2. 先生方が指導されている学生さんによるプレゼン。
 - ・各大学の発表時間は最長 20 分まで
 - ・テーマ、発表形式は自由
 - ・先生の発表ご参加も歓迎
3. 受付は先着順で、8 校程度まで。

お問い合わせはメールにて代表者へ。
y.mikuma.ir@cc.it-hiroshima-ac.jp

5. 2021 年度 秋季研究大会発表募集要領

2021 年 10 月 16 日(土)に 2021 年度秋季研究大会がオンラインで開催される予定です。下記のとおり、研究発表の募集をいたします。奮ってご応募ください。

支部秋季研究大会

日時: 2021 年 10 月 16 日(土)

A) 応募情報(英語での併記もお願い致します)

- (a) 発表題目 (Title): 日本語と英語
- (b) 種別 (Style): 自由研究発表、実践報告、事例研究など
- (c) 氏名 (Name)
- (d) 研究領域 (Research area)
- (e) 概要 (Abstract): 目的、背景、仮説、

方法、結論、引用文献など。日本語の場合は 600 字以内、英語の場合は 250 words 以内とする。

- (f) 所属 (Affiliation)
- (g) 使用機器 (Equipment needed)
- (h) 連絡先 (Contact address): メールアドレスなど

B) 申込応募期間

■2021 年 9 月 30 日(木)

午後 11 時 59 分まで

■申込先

下記支部 HP の申込フォームをご利用ください。

研究発表及び参加申込みフォーム

<https://ws.formzu.net/dist/S23969810/>

(7 月 30 日~9 月 30 日まで申込み可能)

C) プログラムおよび発表スケジュール

詳細は支部会員 ML、および支部 HP でお知らせします。(支部会員 ML へのアドレス追加をご希望の方は事務局までご連絡ください)。

■問い合わせ先

事務局幹事 寺嶋 健史

tterashi@g.matsuyama-u.ac.jp

6. 2021年度『JACET中国・四国支部研究紀要』第19号

投稿募集

質的研究や量的研究など様々な観点に基づく論文、リサーチ・ノート、実践・研究報告、およびブックレビューの4つの分野の研究成果を発表する場として、年一回3月に支部紀要を刊行しています。

応募資格は、所定の学会費を完納した支部会員とします。ただし委嘱原稿については、この限りではありません。

投稿論文は、原則として過去2年以内に開催された全国大会および支部大会で発表を行った研究にもとづくものが望ましいです。

審査は、委嘱原稿を除き、紀要編集委員会が指名する審査員が担当し、査読の結果を踏まえて編集委員会が採用の可否を決定いたします。

JACET中国・四国HPにある投稿規程をご参照の上、奮ってご応募ください。

なお、発行までの日程は原則として下記のとおりです。

■論文投稿申込締切り：9月末

■投稿原稿締め切り：10月末

■審査結果通知：12月末

■修正原稿締め切り：1月末

■刊行：3月末

※年次国際大会や支部大会で口頭発表されていない場合でも、紀要の投稿規程により、論文を投稿することはできます。

投稿先：支部HP フォームズから

仮題目提出

<https://ws.formzu.net/fgen/S42433433/>

投稿原稿

<https://ws.formzu.net/fgen/S47515527/>

お問い合わせ：紀要編集委員会委員長
中山 晃 (愛媛大学)

E-mail:

nakayama.akira.mm@ehime-u.ac.jp

7. ～事務局だより～

2021年1月から2021年7月までの新入会員5名をご紹介します。

★新入会員紹介★

迫田 奈美子 (広島経済大学)

山根 典子 (広島大学)

森川 夏帆 (広島大学)

寺西 雅子 (岡山大学)

Binti Azman Firdaus,

Aliyyah Nuha Faiqah (広島大学大学院生)
(敬称略)

皆様、どうぞよろしくお願いたします。

2021年度の支部人事および本部運営委員をお知らせいたします。支部活動発展のために力を尽くしますので、よろしくお願いたします。

★支部人事★

【支部役員】

支部長 岩中貴裕 (山口学芸大学)

副支部長 高橋俊章 (山口大学)

支部幹事 (*は事務局幹事)

寺嶋健史* (松山大学)

山中英理子 (広島国際大学)

支部会計担当者

関谷弘毅 (広島女学院大学)

田辺尚子 (福山平成大学)

支部研究企画委員 (26名)

五百蔵高浩 (高知県立大学)

池野修 (愛媛大学)

岩中貴裕 (山口学芸大学)

ウィリー・イアン (香川大学)

上西幸治 (福山大学)

榎田一路 (広島大学)

折本素 (愛媛大学)

小崎順子 (川崎医療福祉大学)

小山尚史 (岡山大学)

関谷弘毅 (広島女学院大学)

高垣俊之 (尾道市立大学)

高橋俊章 (山口大学)

田辺尚子 (福山平成大学)

田淵博文 (就実大学)

寺嶋健史 (松山大学)

長崎睦子 (愛媛大学)

中住幸治 (香川大学)

中山晃 (愛媛大学)

二五義博 (海上保安大学校)

平本哲嗣 (安田女子大学)

松岡博信 (安田女子大学)

三熊祥文 (広島工業大学)

三宅美鈴 (広島国際大学)

山川健一 (安田女子大学)

山中英理子 (広島国際大学)

ローレンス・ダンテ (就実大学)

【本部委員】

理事 岩中貴裕 (山口学芸大学)

総務委員会 (支部事務局幹事)

寺嶋健史 (松山大学)

財務委員会 (支部会計担当者)

関谷弘毅 (広島女学院大学)

国際大会組織委員会本部

山川健一 (安田女子大学)

『JACET 通信』委員会

松岡博信 (安田女子大学)

学術出版委員会紀要担当

平本哲嗣 (安田女子大学)

学術出版委員会 Selected Papers 担当

平本哲嗣 (安田女子大学)

セミナー事業委員会

田淵博文 (就実大学)

研究促進委員会

長崎睦子 (愛媛大学)

学術交流委員会

ウィリー・イアン (香川大学)

大学英語教育学会賞運営委員会

池野修 (愛媛大学)

JACET 創立 60 周年記念ウィーク

特別委員会

岩井千秋 (広島市立大学)

松岡博信 (安田女子大学)

山川健一 (安田女子大学)

平本哲嗣 (安田女子大学)

高橋俊章 (山口大学)

岩中貴裕 (山口学芸大学)

学術出版委員会 Selected Paper 担当

中山晃 (愛媛大学)

平本哲嗣 (安田女子大学)

寺嶋健史 (松山大学)

【編集後記】

本年度後半から事務局幹事をするようになりました寺嶋と申します。幹事の事に慣れるまで、会員の皆様にはご不便をおかけすることがあるかもしれませんが、どうぞ宜しくお願い致します。

昨年は新型コロナの影響で研究大会が中止となってしまいました。しかし今年度の春季研究大会はオンラインで開催されました。参加者同士が対面でコミュニケーションができなかったのは残念ではありますが、一方で遠方の他支部の会員の参加が多く、気軽に参加できるのがオンラインのメリットの1つと言えます。ただ、カメラ機能がOFFであったため、遠方にいる私の個人的

な知り合いも参加していることに大会の途中で気づき、個別に話す機会を持てなかったのが残念でした。

8月には「JACET 創立 60 周年記念ウィーク」として 25 日（水）～29 日（日）に第 48 回サマーセミナーと第 60 回記念国際大会がオンラインで同時開催されます。一般発表は 28 日（土）と 29 日（日）の 2 日間です。是非参加されてみてはいかがでしょうか。

10 月の秋季研究大会についてもオンラインでの開催を予定しています。皆様とお会いできるのを楽しみにしています。

【重要】 JACET（大学英語教育学会）

中国・四国支部ニューズレターの配信について

支部長 岩中貴裕（山口学芸大学）

中国・四国支部では、支部会員の皆様により迅速な情報提供を図るべく、2014 年度よりメールにてニューズレターを配信しています。お知り合いの会員の中で、まだ登録をされていない方がおられましたら、下記要領にて登録をされますよう、お知らせください。ご協力の程、どうぞよろしくお願いいたします。

1. 支部 HP

(<http://jacet.edu.yamaguchi-u.ac.jp>) にアクセスする。

2. 入力フォームのサイトのページ

(<http://ws.formzu.net/fgen/S61768122/>) に入る。

3. ウェブの入力フォームに以下の【入力情報】を入力する。

【入力情報】

・支部のメーリングリストに登録を希望しますか？

すでに登録している

希望する

希望しない

(※すでに事務局からのメールが届いている方は登録済みです。)

・登録を希望するメールアドレス

※ニューズレターはメール送信とともに、支部ホームページでも公開します。

なお、上記の作業についてご不明な点がありましたら、事務局幹事の寺嶋までお問い合わせください。

アドレス：tterasashi@g.matsuyama-u.ac.jp

メールアドレスを変更された方は、事務局までお知らせください。

JACET 中国・四国 Newsletter 第 27 号

2021 年 7 月 31 日 発行

発行人 : JACET 中国・四国支部 支部代表 岩中 貴裕

編集 : JACET 中国・四国支部 事務局幹事 寺嶋 健史

発行所 : 〒790-8578 愛媛県松山市文京町 4 番 2 号 松山大学 人文学部

連絡先 : E-mail: tterashi@g.matsuyama-u.ac.jp